

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度	科目名	応用演技Ⅱ
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	声優・演劇科	コース名	声優コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	40時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	アニメ、外国映画、ナレーション原稿				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	小形満	実務経験の有無・職種	有・声優		
<b>学習目的</b>					
実際に使用する機材の使い方とマイクワーク、テキスト(台本)で使われる用語、台本の読み方(芝居の組み立て方)、アテレコにおけるマイク前での発声、距離感を覚える。					
<b>到達目標</b>					
作品における自分の役どころを理解し、豊かな表現ができる事を目標としている。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	先ずアテレコに興味を持たせる。その上で自分で表現したものを録音して聞かせることによってそれぞれの意図と結果のギャップを埋めていき豊かで十分な表現が出来るように進めていく。				
注意点	自分の事だけに目を向けるのではなく問題点、課題は仲間と常にチェックしあえるようなクラスの雰囲気作りが大事である。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	発表	100%	アフレコの演技力、表現力を見る		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	基本のおさらい（1）	言葉が均等に粒立っているか			
2回	基本のおさらい（2）	十分な声が出せているか			
3回	基本のおさらい（3）	キャラクターの動きに合わせた豊かな表現が出来ているか			
4回	基本のおさらい（4）	共演者と距離感、テンションを合わせてみる			
5回	基本のおさらい（5）	皆とコミュニケーションが取れているか確認			
6回	豊かな表現が出来る（1）	アテレコの距離感が表現できるようになる			
7回	豊かな表現が出来る（2）	相手の台詞が聞けるようになる			
8回	豊かな表現が出来る（3）	アクションに合わせた豊かな表現が出来るようになる			
9回	豊かな表現が出来る（4）	表現のメリハリを考える			
10回	豊かな表現が出来る（5）	こちらの要求を理解し対応出来るようになる			
11回	自分らしい表現を考える（1）	自分の声質、個性を知る			
12回	自分らしい表現を考える（2）	自分に合ったキャラクターを考える			
13回	自分らしい表現を考える（3）	役の特徴をつかみ表現出来るようになる			
14回	自分らしい表現を考える（4）	リアルな表現を考える			
15回	自分らしい表現を考える（5）	どうしたら魅力的な表現になるのか考える			